

地域社会を変えるには？

～公民館や学校でも参考参考となる全国の事例に学ぶ～

コロナ禍後の地域社会をめぐる状況や問題を正しく把握し、地域課題をどう捉えていくか学びました。さらに、千葉県柏市や滋賀県近江八幡市など全国の事例を踏まえ、地域の現状を変えていく具体的な方策や対話の進め方を学び、目指すべきビジョンについて考えました。

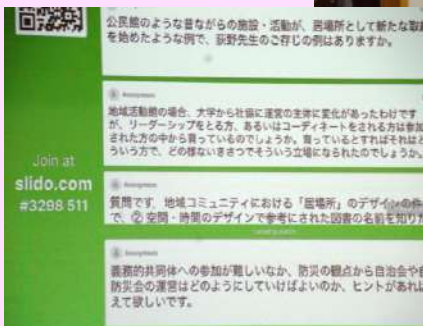


講義

「ポストコロナの地域社会」 「地域社会を変えるには？」

日本女子大学准教授

荻野 亮吾 氏



Slidoの活用



〈受講者アンケートから〉

- ・ 地区に埋もれている資源（含人的資源）を発見することの大切さについて考えました。（公民館）
- ・ 地域づくりのプロセスが大事なこと。具体的なお話しに非常に参考となり、改めて地域コーディネーターの役割・機能が大事であると感じました。（市町村）
- ・ 行政側からの視点で学ぶことで、住民主体の活動や方法が新鮮でした。（一般）
- ・ 地域を変えるアセットベースの考えが有意義でした。地域社会の「分析」「停滞」に対する「諦め」からは何も生まれないと反省しました。（国・県）
- ・ slidoを活用したことで、参加者の考えていることが、その場でわかることができうれしかった。（公民館）
- ・ ゆるくつながる人を増やし、会則は厳しすぎず、緩すぎないものにします。（一般）
- ・ 具体的なプロセスをご教示いただけただけなので参考にしたいと思います。（公民館）
- ・ 地域単位でのアプローチ、役場からの地域へのアプローチに活用します。（国・県）
- ・ 学校と地域とのかかわり等について参考にしていきたいと考えます。（市町村）

